

夫婦道 序章

(夫編)

妻を幸せにできるあなたになるために・・・



著者：ザビエル

1. あなたはすでに頑張りすぎているっ！

あなたは妻や子供のために
仕事を一生懸命してきたのではないのでしょうか？

うまくいかない職場でも、我慢をして、クレームの客や
バカな上司や、使えない部下と一生懸命仕事をしてきた、、、

それでも家族のために我慢をして、頑張ってきたと思います。

でも、、、妻からは認められず、給料が少ないだの、
あなたは間違ってるだの、指摘の嵐。

家に帰っても、妻はイライラしていて、いつも無表情。
自分に笑顔を向けてくれたのは、一体いつのことやら。。

そんな家庭に嫌気が差し、家に帰りたくないという思いから、
わざと残業したり、お姉ちゃんのいるお店に行ったり、、

もしかしたら、好きな人ができて、
浮気・不倫をしてしまったかもしれません。

それを妻にばれて、怒り狂われたか、
泣きながら浮気をやめるよう懇願されたかもしれません。

もう疲れ果て、別居、離婚をしたい、
自分が妻を幸せに出来ないのならば、

もう離れてあげたほうが良いんじゃないか、
と思うこともあったかもしれません。

ですが、同時に心の中では、本当は何とかしたい、
このままではいけないと思われているかもしれません。

でも、安心してください。

このレポートを読み終えたときには、
妻があなたを心から尊敬し、認めてくれる・・・

家に帰れば、いつも笑顔で溢れ、
楽しそうに日々を過ごしている・・・

たとえ給料が少なくても、
たとえ付き合いで土日が無くなったとしても、

文句どころか「いつも本当におつかれさま、ありがとね」と
心からねぎらってくれる。

あなたの妻が、あなただけを心から大切にし、心から愛し、
心から支える、、、そんな最高の妻にする方法が理解できているでしょう。

2. 原因と結果の法則

なぜ、今の夫婦関係になってしまったのか？

これは、理想の妻に変えるために、
必ず理解しなければなりません。

あなたも仕事で、問題が起こったときに
「何が原因でこの問題が起こったのか？」を探すことでしょう。

なぜなら、問題の原因がわかっていない場合、、、
同じような問題が起こる可能性が高くなるからです。

これは、夫婦関係に対しても同じ。

まずは今の夫婦関係になった理由がわからなければ、
今からどうすれば妻を変えられるのかが理解できないのです。

では、一体どうして今の夫婦関係になってしまったのか???
ここをお伝えしていきたいと思います。

2-1.与える”もの”を勘違いしている

あなたはもしかしたら、「仕事」をしていれば、
自分の役割は果たしていると思われているかもしれません。

または、家事や育児を手伝ってれば、
問題は無いと思っているかもしれません。

しかし、残念ながらどれだけそれらを一生懸命しようと、
妻は満足してくれません。

なぜなら、与える”もの”が違うからです。

あなたが与えている「もの」と、
妻が欲しい「もの」が全く違うのです。

ここを理解していないから、すれ違いが起こる。

だから、

妻「なんで、わかってくれないの！

あなたはぜんぜん手伝ってくれない！！」

夫「俺だってやってるだろ！お前だって、言うばかりで、

俺のことをわかろうとしてくれないじゃないか！！」

なんて会話から、夫婦喧嘩が起こってしまうのです。

なぜ、このような問題が起こってしまうのか？

それは、価値の交換が行われていないことが原因なのです。

2-2.価値の交換

夫婦関係において、最も大切なのは、

価値と価値の交換です。

コンビニエンスストアを考えて欲しいのですが、
ジュースを買おうとした場合、対価としてお金を支払います。

これは、価値と価値の交換が行われている状態です。

もし、ジュースだけを持って帰ろうとしたら、それはドロボウです。
逆に、品物を渡さずにお金だけを取ろうとすれば、それは詐欺です。

あくまでも、価値（ジュース）と価値（お金）の交換が
行われるからこそ、お互いが納得するわけです。

夫婦関係においても、同じことが起こっています。

夫が与える価値は「仕事」と「お金」、
ちょっとした「家事」や「育児」のお手伝い。

妻が与える価値は「全ての家事」と「全ての育児」。

この場合は、きちんと価値と価値の交換ができているように思えますが、
残念ながらこれは機能的価値しか満たせていない可能性が高い。

そして、機能的価値しか満たせていない場合、
夫婦関係は破綻する可能性のほうが圧倒的に高くなります。

その理由を次で説明します。

2-3.価値には2種類ある

価値には、機能的価値と感情的価値の2つがあります。

機能的価値とは、読んで字のごとく「機能」で、

感情的価値とは、「感情」です。

事例を交えてお話ししましょう。

たとえば、超人気の高級ホテル。

機能的価値は、「泊まる場所を提供する」ことですが、

感情的価値は、「想像以上の料理」だったり、「感動するような空間」、

「心がこもったおもてなし」などになります。

イメージとして、機能は無機質で冷たいもので、

感情は暖かいものという感じです。

2-4.機能的価値しか与えない夫婦

夫婦関係が悪い人たちは、
機能的価値しか与えていない可能性が高いです。

男性に多いのは、「仕事をしてお金を稼ぐ」ことを
価値として考えています。

なので、その価値を提供していれば
十分であるという思いを持っていることが多いです。

たとえ家事や育児を手伝ったとしても、
それは「手伝ってあげている」という意識かもしれません。

もし、その意識を持っていたとしたら、、、
残念ながら妻はいつまでたってもあなたの理想には変わりません。

なぜなら、妻は機能的価値だけでなく、
感情的価値も求めているからです。

ただ、勘違いして欲しくないのですが
妻が欲している感情的価値とは、

「心からのおもてなし」や「感動するような空間」

ではありません。

(もちろん、それも嬉しいでしょうが笑)

では、一体何を欲しているのでしょうか？

それは次の章でお話していきましょう。

3. 感情的価値を与える

先ほどの章で、理想の妻に変えるには
感情的価値を与える必要があると伝えました。

では妻にとっての
感情的価値とは一体なんなのか？

この話をする前に、
少し考えて欲しいことがあります。

それが、、、**あなたは、妻とどんな関係なのか？**
ってことです。

3-1.妻とあなたの関係

妻とあなたの関係を仕事に置き換えてみたので、
一度考えてみてください。

あなたは、あるプロジェクトチームのリーダーです。
当然、そのプロジェクトを成功させたいと考えています。

あなたはどんなチームを作れば、
プロジェクトが成功する可能性は高まるでしょうか？

1. 責任分担がはっきりと別れているチーム
2. 責任分担はなく、お互い助け合うチーム
3. 責任分担は別れているが、お互いが助け合うチーム

もう少し具体的に話していきましょう。

1. 責任分担がはっきりと別れているチーム

責任分担がはっきりと別れているチームとは、
自分の仕事はしっかりとするけど、誰かが困っていても一切手伝わない。

手伝ったとしても、「手伝ってやっている」という
空気をかもし出すチーム。

2. 責任分担はなく、お互い助け合うチーム

責任分担が無いから、
誰が何をするのか決まっていない。

誰かが何かをやっていることに対して、
率先して手伝うが、どうすればいい？
何をすればいい？と言っているチーム。

3. 責任分担は別れているが、お互いが助け合うチーム

自分の責任部分はしっかりとするが、
ゴール（プロジェクトの成功）に向かうために
協力して一緒に進んで行くチーム。

さあ、どれが一番うまくいきそうでしょうか？

もちろん、プロジェクトの内容にもよるかもしれませんが、
チームにもよるかもしれませんが、きっと
3がうまくいきそうではありませんか？

しかし、関係が悪い夫婦は、
1のパターンがほとんど言ってもいいかもしれません。

このレポートの初めでも伝えましたが、夫なら「仕事」、
妻なら「家事と育児」というふうに責任分担をしています。

だから、夫婦関係がうまくいっていない夫は、
妻が困っていても「それはお前の仕事だろ」
という意識を持っている方が多い。

逆に妻は、「お金を稼いでくるのは、あんたの仕事」という
意識を持っている方が多い。

そうすると、給料に対して、「足りない」、「少ない」と言ってきたり、
仕事で遅くなったり、出張なんてことになると文句を言うわけです。

すなわち、、、1のチームの妻は、

仕事をしてお金は沢山稼いで来い、だけど、
残業や出張はなるべくするな！

私を助けなさい、家事や育児を手伝いなさい、
あの家の旦那は家事を率先して手伝うそうよ、、、

なんてことを言う”理想とは真逆の妻”になる訳です。

じゃー、それは妻の性格が悪いからなのか???
というと、実はそんなことはありません。

そうではなく、夫は妻に対して、

「俺は仕事をやってるんだから、
家事や育児はちゃんとかなせ」

とっており、

妻は夫に対して、

「家事や育児はやってるんだから、
理想の金額ぐらい稼いでこい」

または、

「家事や育児、ましてや仕事もしてるんだから、対等である。
だから家事や育児ぐらい手伝え」

と思っている。

お互いがそんな”もっとよこせ！”と言い合う関係だとしたら、、、
夫婦円満になると思いますか？

【幸せな家庭を構築する】というプロジェクトは、
うまくいくのでしょうか？

では、理想の妻に変えるために、
僕たちはどんな関係を目指すべきなのか？

それが、3のパターン。

責任分担はしているけど、
それを押し付けるのではなく、
助け合う関係を作る必要があります。

そして、この助け合う関係というのが、
まさに感情的価値を与えることに繋がるのです。

3-2.助け合う＝感情的価値

助け合う、と聞くと、いや私は助けています！
家事も手伝ってるし、育児も率先して手伝っています！
という人がいます。

もちろん、それも助け合うに含まれるのですが、
それよりも、大切なことがあります。

それが、「妻のことをわかろうとしているかどうか？」です。

はっきりと言っておきますが、

- ・妻はゴミ出しをして欲しいではありません。
- ・妻は料理を作って欲しいではありません。
- ・妻は皿洗いをして欲しいではありません。
- ・妻は部屋を掃除して欲しいではありません。
- ・妻は子供の世話をして欲しいではありません。
- ・妻は話を聞いて欲しいではありません。
- ・妻はプレゼントが欲しいではありません。

妻は何かをして欲しいのではなく

「自分のことをわかって欲しい」のです。

妻という役割ではなく、一人の女性、一人の人間として
あなたにわかって欲しいのです。

どんなことが得意で、どんなことが苦手で、
今どんなストレスを抱えていて、何に喜びを感じ、
何に悲しみを感じるのか・・・

どんなことに愛情を感じ、どんなことに不安を感じ、
何を心配しているのか・・・

これらをわかって欲しいのです。

高価なものをプレゼントされることに愛情を感じるのか？
妻のためにかけた時間や労力に対して愛情を感じるのか？
ちょっとした言葉や態度に愛情を感じるのか？
隣で話をするだけで愛情を感じるのか？
セックスをすることで愛情を感じるのか？

それは、人によって違うのです。

あなたの妻は、一体どんなことに愛情を感じるのか・・・知っていますか？
いや、、、知ろうとしていますか？

「士は己を知る者の為に死す」

この故事は、男性に使われる言葉ですが、女性も同じです。

自分のことを知ろうとしてくれる人のために、命を使い全力を尽くすわけです。

感情的価値とは、まさに「相手のことを知る」ことであり、相手のことがわかれば、相手を心から喜ばすことも、支えることも、助けることも出来るのです。

逆に、相手のことを何も知らないのに、喜ばすことも、支えることも、助けることもできません。

なぜなら、、、一体何が、相手の望んでいることなのか？
がわかっていないから。

先ほども伝えました。

一体どんなことに喜び、支えられていると感じ、
助けられたと感じるのか？これがわからないのに、

相手を喜ばすことなど出来ないのです。

相手を支えることなど出来ないのです。

相手を助けることなど出来ないのです。

妻を助けるとは、世間が言っているような
「〇〇すれば良い」ということをするものではありません。

妻を助けるとは、“妻が助けて欲しいこと”をする事なんです。

そして、それこそが感情的価値を与えることになるのです。

でも、、、もしかしたら、「何でそこまでやんないといけないの？」と
思われているかもしれません。

妻からは優しい言葉もかけられず、いつも指摘され、
あなたは間違ってる！と言われる、、、

そんな相手に、今更頑張ろうなんて思えない・・・

その気持ちはわかります。

ですが、これから本当に大事なことを話しますので、
もし今更頑張りたくない！と思われた場合は、
特にじっくりとお読みください。

なぜなら、あなたが今の妻と離婚して、
新しい女性と一緒にあったとしても、、、

もしかしたら同じような夫婦関係になり、再び終わりを迎える
可能性が高いからです。

すわなち、次を見るか見ないかで「女を幸せにできる男」か
「女を不幸にする男」かの分かれ道になるかもしれません。

3-3.あなたはどんな男？

あなたという人間を、
一度客観的に見てみましょう。

これまでの話で、、、
あなたは妻の何を知っているでしょうか？

妻が何に困っていて、どんなことにストレスを感じ、
何をされると喜び、何に対して愛情を感じるのか？

今の友達はどうな人たちで、
どんな人間関係に悩みを抱えているのか、、、

これらを理解しているような男でしたでしょうか？

それとも、「仕事をしている自分」「家事や育児を手伝っている自分」
「お金を稼いでいる自分」が偉くて、

家事や育児は、「妻がするのが当たり前」と思い、相手が困っていようが、
苦しんでいようが、それを知らうとせず、放置するような男でしたか？

ここで勘違いして欲しくないのですが、僕はどちらのあなたが正しくて、どちらが間違っているという話をしたいのではありません。

今では幸せな家庭を築いている僕も、

昔は後者でした。

仕事は俺の役割だから、しっかりとする。

だけど、それ以外はあんたの仕事でしょ？

それぐらいやって当たり前。

家事や食事の文句、子育てに口を出す。

だからと言って、自分が主体で何かをすることはなく、

意見を言うだけ。

そして、妻をどんどん追い詰め、苦しめ、、、

笑わなくなった妻を見て、僕自身も苦しみました。

しかし、僕は気付きました。

妻が僕のためにしてくれている、
たくさんのごことに。

僕だけに向けられる気遣い、優しさ、暖かさなど、、、
多くのことを感じ取れるようになりました。

全てが当たり前ではなく、妻がそこにいるからこそ、
与えてもらえるものばかりでした。

ここで初めて、僕は妻だけでなく、子供や周りの人から
たくさんのもので与えられていることに気づき、
心から感謝できるようになったのです。

今の僕は、一人の女（妻）を徹底的に愛し、
「あなたと結婚できて本当に幸せだった」と言われ、

こどもたちには「この家庭で育って幸せだった」と
言われるような男でありたい、と思っています。

そのために僕は、今でも学び実践し続けています。
それが、僕の人生を必ず豊かにしてくれると信じているから。

そこであなたに1つだけ質問があります。

「あなたはどんな男でありたいのでしょうか？」

それはあなたが選べるのです。

4. 今から何をすべきか

さあ、それではこれから、何をすれば妻から愛される夫になれるのかをお伝えしていこうと思います。

妻から愛される夫になるためには、3つのミッションをクリアする必要があります。

ですが、残念なことに、**このミッションは一生クリアできません。**
※もちろん、僕自身もクリアしてません笑

それでは、3つのミッションと一生クリアできない理由について、説明していきたいと思います。

すべてを読み終えたとき、あなたの人生観は大きく変わることをお約束しましょう・・・(ハードル上げてみましたw)

4-1.幸せセンサーを再起動せよ！

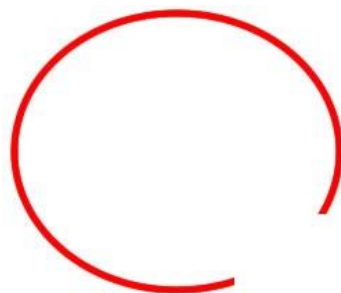
人間には、幸せセンサーと不幸センサーという
2つのセンサーを元々装備しています。

そして、多くの人々は、不幸センサーを頻繁に働かせ、
幸せセンサーを止めてしまっています。

また、この不幸センサーは、
出来事の悪いところを探す天才です。

夫の悪いところ、子供の悪いところ、知り合いの悪いところ、
レストランの悪いところ、ホテルの悪いところ、旅行先の悪いところ・・・

それよりも良いものと比較して、ダメなところを探します。
ようは、この図のように、円の欠けているところばかりを
見つけてしまうんです。



そうすると、自分の目の前にあるもののダメな部分を見つけます。

こんな感じで・・・

- ・同僚の奥さんは、家事も育児も完璧でうらやましいよ。
うちの嫁とは比べ物にならないな～。
- ・友人の子供は、勉強が出来るけど、うちの子は勉強も運動もダメ。
大丈夫かな、ニートになったら大変だ。
- ・なんか、ここの料理おいしくないな。お金損したよ。
あの人がおいしいって言ってたのに、本当適当だな！
- ・ホテルのベッドのあのシミとか、普通あり得ないよね。
本当に考えられない。クレーム言ってやる！

ただ、これを見つけるのがダメですよって話ではありません。

そうではなく、不幸センサーをフル活動してしまうと、
自分の気分が悪くなる側面ばかりを見つけてしまう。

そうすると、より不幸を感じやすくなり、

「不幸センサーはさらに敏感になる」

という負のスパイラルに巻き込まれていくのです。

もちろん、それでも良いんです！と思われるのであれば、
僕は止めません。

ですが、妻に心から愛されて、
楽しい毎日を過ごしたい！と思われるのであれば、
幸せセンサーを働かすことをお勧めしています。

じゃーどうやって、幸せセンサーを働かすのか？というと、
毎日下記の質問に答えるだけ。

(これは初歩中の初歩ですが、ものすごく大事なスキルの1つです)

◆今から24時間以内にあつた、

嬉しい、楽しい、感謝できる、癒された出来事はなんですか？

これを繰り返すだけで、不幸センサーは動きを止め、
幸せセンサーが働き始めます。

この話をすると、もしかしたら

「ポジティブシンキングになればいいってことでしょ！」

と勘違いされるかもしれません。

ですが、話すとき長くなるので割愛しますが、

僕が話しているのは**全然違いますから**ね。

何でもかんでも**ポジティブ**に考えると、

無理やり変えることになるので、ストレスが溜まります。

そうなる、結局は爆発して、相手を責めたり、

うまくいかない自分を責めたりしてしまいます。

なので、何でも**ポジティブ**に考える場合、

ストレスが溜まっていないのなら良いのですが、

我慢してるとか、頑張ってると思っているのであれば、

その考え方は一旦置いておいてください。

そして、3日間で良いので、先ほどの質問に毎日答えてみてください。

4-2.お慈悲バックを装備しろ！

慈悲・・・wikipedhia で調べたらこのように書いてありました。

仏教用語で、他の生命に対して自他怨親のない
平等な気持ちを持つことをいう。

一般的な日本語としては、目下の相手に対する
「あわれみ、憐憫」(mercy)の気持ちを表現する場合に用いられる。

ここでいう慈悲は、仏教用語の

「自他怨親のない平等な気持ち」を意味とします。

僕たちは、目の前で起きた出来事に対して、自身の思考で判断します。

まあ、当然のことなのですが、ここに落とし穴があります。

たとえば、あなたが仕事から帰ってきたら、
妻から「少しぐらい家事を手伝ってよ！」と
イライラしながら言われたとしましょう。

ここで多くの方は、「少しぐらい家事を手伝ってよ！」という
言葉を受け取り、いやーな気分になります。

そして、

「俺だってやってるだろ！」

「仕事で疲れてんだよ！」

「お前だってあのとき・・・」

「はいはい、わかったよ」

「無視」

なんて対応をしたことはありませんか？

あなたはすでに経験済みかもしれませんが、

このやり取りは夫婦喧嘩に発展するか、

会話がなくなる可能性が高いです。

そこで登場するのが「お慈悲バック」です。

お慈悲バックとは、まるでエアバックのように、

あなたが危険になったらあなたを守るために出てくるシステムです。

エアバックはあなたの**“体”**を助けますが、

お慈悲バックはあなたの**“心”**を助けてくれます。

では、どうやって「お慈悲バック」を装備するのか？
そのためには、ある1つの考え方を持つことです。

それが「一旦受け入れる」ということ。

物事から判断するのではなく、まずは受け入れてみるのです。

具体的に言えば、「少しぐらい家事を手伝ってよ！」と
妻から言われたとしましょう。

その言葉をそのまま受け取ると、
自分が否定されているかのように感じてしまいます。

ですが、ここでお慈悲バックが発動させます。

ようは、「少しぐらい家事を手伝ってよ！」という言葉一度受け入れます。
そして、そのあとで「本当は何を言いたいんだろうか？」を考えるのです。

3-2で、僕は「妻は家事を手伝って欲しいではありません」と
お伝えしました。

うちの妻もそうですが、「家事を手伝って！」の背景には、

- ★もっと私を見てほしい
- ★気にかけてほしい
- ★助けてほしい
- ★褒めて欲しい
- ★認めて欲しい
- ★寂しい
- ★辛い
- ★苦しい

といういろいろな想いが含まれていたのです。

妻が言ってくる言葉や態度には、すべて「背景」があります。

背景というのは、「感情」です。

何かを感じ、それが言葉や態度になって表面化されるわけです。

その表面に出ている言葉や態度に囚われると、
自分が責められたり、否定されていると感じやすくなります。

ですが、背景である「感情」を探ろうとすれば、
見えてくるものは全く違ってきます。

そして、見えてくるものが違えば、
あなたが感じることも変わってきます。

責められた！と感じれば、怒りや悲しみ、無気力など
ネガティブな感情を感じやすくなります。

ですが、疲れているのかな？しんどかったのかな？
辛いことがあったのかな？と感じれば、夫に対して
優しくなれる可能性が高くなるのです。

そのために、「お慈悲バック」を発動させ、
「まずは受け入れてみる」ということをしながら、
相手が本当に伝えたいことは何なのか？と
「背景を探る」ことをしてみてください。

もしかしたら、じゃー世間でNGだと言われている
DV、モラハラ、借金、浮気、不倫などについても
「受け入れないといけないのか？」と言われれば、全く違います。
※これは、またどこかでお話しできればと思っています。

簡単に言えば、【手段】は受け入れる必要はないけど、

【思い】は受け入れた方が良くということです。

もう少し言えば、浮気や借金という手段は
受け入れる必要はありません。

ですが、なぜ妻は浮気をしたのか？借金をしたのか？
という背景は知っておいた方が関係性は構築しやすいです。

この背景が理解できなければ、
恨みや憎しみとなって残ってしまいますから。

恨みや憎しみとして心の中に残ってしまった場合は、
当然ですが、関係性の構築は難しいです。

文章で説明するとかかなり長くなるので、ここでは割愛します。

4-3.G & Aを繰り返せ！

妻から愛されるためには、
素直にG & Aをする必要があります。

これをしないから、夫婦関係は
どんどん壊れていくといっても過言ではありません。

では、G & Aとは何なのか？

それが、G（ごめんなさい） & A（ありがとう）です。

（ここは笑うところです笑）

ただ、これは真実です。

人間関係において基本中の基本ですが、関係が悪い夫婦というのは、
これが全くと言って良いほどできていません。

もっと厳密に言えば、言葉には出しているかもしれませんが、
「心」が伴っていないのです。

本当に悪かったと思っていないけど、
相手の機嫌が悪いから謝る。

ありがたいと思っていないけど、
相手が求めるから言う。

残念ながら、どれだけ“言葉だけ”を何百回、何千回言おうが、
相手には伝わりません。あなたも経験はありませんか？

心がこもっている「ありがとう」や「ごめんなさい」と、
心の無い「ありがとう」と「ごめんなさい」。

何となくかもしれませんが、伝わりませんか？

そして、「心」の次に大切なのは“具体性”です。

ありがとう、ごめんなさいは、
具体的に伝えていますか？

- ・ありがとう
- ・〇〇をしてくれてありがとう
- ・家事や子育てをされていて大変なのに、〇〇をしてくれてありがとう

- ・ごめんね
- ・〇〇をしてしまってごめんね
- ・傷つけるつもりはなかったんだけど、
感情的になって言い方がきつくなってしまった。ごめんね

あなたがどんな言葉を言われたら、
「ありがとう」と「ごめんなさい」は、
より相手の心に伝わるでしょうか？

一言いえば伝わるでしょうか？
それとも、具体的に言えば言うほど伝わるでしょうか？

もちろん、そのときの状況によっては
一言で伝わることもあるでしょう。

ですがそこには必ずと言って良いほど、
「心」がこもっているのではないのでしょうか。

あなたのありがとうとごめんなさいは、
相手にはしっかりと伝わっているのでしょうか？

実は、夫婦関係を構築する上で、心からのありがとう、
心からのごめんなさいは、必須と言ってもいいでしょう。

それでは、どうすれば「ありがとう」と
「ごめんなさい」を心から言えるようになるのでしょうか？

それが、

「ありがとう」は4-1の幸せセンサーを再起動すること。

「ごめんなさい」は4-2のお慈悲バックを装備すること。

なんです。

もう少し具体的にお伝えしましょう。

3-1の幸せセンサーを再起動すると、

妻にやってもらったこと

妻が気遣ってくれたこと

妻の優しさ

妻の可愛らしさ

妻のありがたさ

いろいろなことに気付けるようになります。

決してそれらは「当たり前」ではなく、

妻がいてくれるからこそ感じられることなんです。

そこに気付くからこそ、
心からの「ありがとう」が言えるのです。

そして、次に、3-2のお慈悲バックを装備すると、
相手が本当は何が言いたいのかを探すようになります。

そうすると、いつの間にか妻に寂しい思いをさせていたこと、
辛い苦しいと思わせていたことに気付けるようになります。

本当は**“妻と幸せになりたい！”**と思い結婚したのにも関わらず、
寂しい思いや辛い思いをさせていたことに気付く。

そこに気付くからこそ、
心からの「ごめんなさい」が言えるのです。

そして、このG & Aを日々の中で繰り返す男こそが、
理想の夫婦関係を築き、家族を、妻を、子供たちを
幸せにできる男になれるのです。

5.最後に

さあ、最後になりました。

ここまでいろいろと伝えてきて、
感じることも多々あるかもしれません。

「もっと大切にしよう」「早速試してみよう」
「もう遅い」「どうせ無理だ」・・・

もしかしたら、このようにいろいろと
感じられたかもしれません。

でも、最後に思い出して欲しいことがあります。

それが、結婚式

あなたは妻と幸せになるために
結婚したのではないのでしょうか？

そして、妻も同じように
あなたと幸せになりたかったはずです。

あなたはこれまで沢山のことを
妻からもらっていませんか？

笑顔や優しさ、気遣いや楽しさ、、

もちろん、それだけでなく、きっと
傷つけられたことも沢山あったでしょう。

責められて、怒り、悲しみ、苦しみ、、、
こういうことも感じてきたかもしれません。

でも、その前に考えて欲しいんです。

妻からもらっていた沢山のことが、
いつの間にか「当たり前」になっていませんか？

感謝の言葉を口に出すことも、態度で示すこともやめてしまい、
不幸センサーをフル活動させていませんか？

または口に出していたけど、
心から「ありがたい」と感じていなかったのではないのでしょうか。

「やってもらって当然！だって俺だってやってるから！！」
と聞いていませんか？

もちろん、それが間違いだと言うつもりはありません。
でも、ここで、もう1度考えてみて欲しいのです。

あなたは、妻を苦しめるため、寂しさを与えるため、
傷付けるために結婚したのではないでしょう。

でも、結果的に夫婦関係は悪くなってしまった。

二人とも幸せな家族を夢見て、
笑いが絶えない暖かい家庭を目標に
毎日頑張ってきたのではないのでしょうか。

もちろん、もう遅いと諦めても良いでしょう。
ですが、僕からの最後のお願いです。

このレポートを読んだあなたには、
1つだけでも良いのでチャレンジをして欲しいのです。

その最初の一步が、G & Aです。

これまでの"ありがとう"

と

これまでの"ごめんなさい"

を伝えてみてください。

そして、あなたの「想い」も。

ナイチンゲールはこうっています。

「そこに明確な行動が伴っていなければ、
想いを十分に伝えることは難しいと思う」

と。

ぜひ、勇気を持って最初の一步を
踏み出されることを心から応援しています。

また、もしもっと本格的に学びたい！
自分の力で、幸せな家族を手に入れたい！

と思われたら、下記から、

ザビエルの幸せ家族研究所に参加しませんか？

⇒<https://jyosui.com/shiawase-kazoku>

ただ、無理に参加する必要はありませんので、
興味がなければスルーしてくださいませ ^^

あなたが円満な夫婦、温かい家庭を手に入れ、
幸せな人生を歩まれることを心から願っています。



ザビエルから愛をこめて！！